

市立秋田総合病院中期経営計画
【評価結果報告書】

平成25年12月
市立秋田総合病院
中期経営計画評価委員会

1 市立秋田総合病院中期経営計画評価委員

委員長 鈴木 明文 (地方独立行政法人秋田県立病院機構理事長)

副委員長 堀井 照重 (公認会計士堀井照重事務所)

委員 伊藤 千鶴 (秋田市保健所長)

2 市立秋田総合病院中期経営計画評価委員会開催内容

日時： 平成25年12月4日(水)

場所： 市立秋田総合病院2階ナースセンター

内容： 市立秋田総合病院中期経営計画に関する評価について

3 市立秋田総合病院中期経営計画評価基準

※各項目について下記(5段階)により評価

A	特に優れた実績をあげている
B	年度計画通りに実施(達成度が100%以上と認められる。)
C	概ね年度計画を実施(達成度が80%以上100%未満)
D	年度計画が十分に達成されていない(達成度が80%未満)
E	業務の大幅な改善が必要である

1 取り組み状況の概要

区分		取り組みテーマ (平成24年度～26年度)	平成24年度取り組み内容	評価コメント	評価
(1)	急性期病院としての機能強化	診療体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・DPC(包括支払制度)の運用維持 ・7対1看護体制の運用維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・DPC、7対1看護体制の増収効果あり ・実績について、特に優れているとは言い難い 	B
			<ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り委員会等を開催している。 ・チーム活動は充実している。 ・チーム医療体制の充実 	B
			<ul style="list-style-type: none"> ・救急体制の強化 ・小児科および耳鼻咽喉科救急外来の新設(H24.9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急患者数が大幅に増加しており評価できる。 ・小児科および耳鼻咽喉科救急外来の設置により、救急患者数が増加している。 	A
		医療機器等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的かつ効率的に医療機器の整備、更新を執行 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り医療機器整備が行われている。 	B
(2)	医療機関相互の連携強化、機能分担化	地域医療連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・開業医訪問 ・地域医療連携の会を開催 ・地域連携誌「らしん盤」の発行 ・施設職員へのセミナー開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携の会の実施や連携誌の発行など、計画通り実施されている。 ・紹介率は目標を下回っているが、逆紹介率が目標値を大きく上回っており評価できる。 ・開業医訪問件数が少し減少している。 	B
		公立病院としての特性の発揮(不採算部門、救急医療、各種教室、専門外来)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で必要となる救急、結核、精神部門の運用 ・救急救命士に対する教育や講習の開催、技術向上支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の病床利用率は年々順調に増加している。 ・結核、精神とも病床利用率は前年並みを維持している。 ・救急救命士の受入れ実績も目標を達成している。 	B
			<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室、健康講座の定期開催 ・専門外来の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室の開催回数は計画通りに行われている。 ・参加者数が減少傾向の教室もある。 	B
		患者ニーズに対応するための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・患者サービスの強化 ・診療情報の提供 ・セカンドオピニオン外来の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度調査を実施し、目標を達成している。 ・セカンドオピニオン外来の受診者が大幅に増加している。 	B
		秋田県がん診療連携推進病院としての充実	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の相談支援 ・緩和ケア教室等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん相談件数の増加 ・がん情報の提供や、がん患者および家族とのふれあう会を開催するなど、支援強化が見られる。 ・日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設の認定 	A
(3)	人材育成と確保	人材育成と人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・初期、後期臨床研修病院として、研修プログラムや実習内容の充実 ・医学生を対象とした病院見学や看護師などの実習生受入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒後臨床研修医(1年次)の確保数は、目標数を大きく下回っている。 ・後期研修医も目標数に達していない。 ・病院見学や実習生の受入れは、概ね計画通りである。 	C
		医療クラークの配置	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の事務負担軽減を図るため、医療クラークを配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定通りの人員を採用している。 ・医師事務作業補助者加算を取得(50対1→30対1) 	B

区 分		取り組みテーマ (平成24年度～26年度)	平成24年度取り組み内容	評価コメント	評価	
(4)	医療安全対策の強化	医療安全対策の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策委員会の定期開始 院内での教育・研修会の充実 院内薬剤巡回の実施 医療安全強化月間 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会やカンファレンスなど、計画通り実施されている。 医療安全に関する研修会も前年並みに開催され、目標数を上回っている。 インシデント報告数が目標に達していない。 	B	
(5)	院内感染対策の強化	院内感染対策の活動強化	<ul style="list-style-type: none"> 職員教育や研修会の実施 院内ラウンドの充実 他病院との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 院内ラウンドや職員教育は計画通り実施されている。 他病院との連携についても、合同カンファレンスや相互ラウンドなど計画通り実施されている。 	B	
(6)	経営健全化の推進	(収入増加策)	患者数の確保	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 入院、外来とも延べ患者数は目標を達成している。 病床利用率も目標値を上回っている。 延べ患者数、病床利用率とも増加傾向にあるが、実績が特に優れているとは言えない。 	B
			診療報酬の加算取得への対応	<ul style="list-style-type: none"> 院内に各診療科等を対象とした診療収入調整会議を開催し、加算取得等状況把握を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 院内会議は予定通り開催されている。 	B
			高度医療機器等の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率上昇に向けて院内各部門との情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 諸会議は計画通りの回数を実施している。 	B
		(費用削減策)	診療材料の適正な在庫管理	<ul style="list-style-type: none"> 医療材料購入費削減業務委託(コンサル) 診療材料在庫管理システム(SPD)を活用した適正在庫管理 	<ul style="list-style-type: none"> 医療器材在庫金額は減少傾向にある。 診療材料費の割合は目標を達成していないが、割合は年々減少傾向にある。 	B
			<ul style="list-style-type: none"> 購入単価見直し 後発医薬品の採用 	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品ベンチマーク、分析システムデータを活用した値引率の改善 後発医薬品への切り替え実施 	<ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品への切り替え効果額は、前年と比較して減少している。 後発医薬品の拡充 薬品購入費が前年を大きく上回っている。 薬品費割合は目標を達成している。 購入値引率の改善 	B
			委託業務等の内容精査	<ul style="list-style-type: none"> 委託、賃貸借業務等における契約内容の精査 仕様書等見直しによるコスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> 委託料、賃借料ともに実績額は増加している。 委託料の削減効果額としては、目標を達成している。 	B

区 分		取り組みテーマ (平成24年度～26年度)	平成24年度取り組み内容	評価コメント	評価
(7)	施設設備改修への対応	施設設備老朽化への対応	<ul style="list-style-type: none"> 施設老朽化により、患者等の安全を優先した計画的な施設整備を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画通りの更新工事が執行されている。 繰越工事の実績がある。 	B
(8)	高度医療へ対応するための医療機器の整備等	高度医療への対応	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器の整備、更新 高度医療機器の有効活用 検査受託など地域の医療機関に対する支援機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画通りの医療機器の整備、更新が行われている。 高度医療機器の稼働実績は、全体的に順調な件数を保っているが、MRIは減少している。 	B
(9)	災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 災害時対応訓練の強化 災害派遣医療チームの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時対応訓練の強化 災害派遣医療チーム（DMAT）の活動に必要な技術維持、資質の向上 災害拠点病院の指定 	<ul style="list-style-type: none"> 予定通りの活動を実施している。 	B
(10)	未収金対策	未然防止への対応	<ul style="list-style-type: none"> 救急外来での請求書発行（8時30分から22時30分まで） ※従前は「預り金」 土日祝日の退院予定患者への請求書事前交付（金曜日等） 「入院願」に医療費支払相談希望の有無を確認する欄を新設 	<ul style="list-style-type: none"> 救急外来での請求書発行は、順調かつ実績をあげている。 医療相談件数が前年を大きく上回っている。 未然防止への努力は認められる。 	B
		未収金回収の強化	<ul style="list-style-type: none"> 簡易裁判所等への支払督促申立 督促状・催告状の送付、電話による納入の催促 悪質滞納者への個別面談による納入勧告 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画通りである 未収金回収に対する努力は認められる。 収納率は目標を下回っている。 	B
(11)	一般会計からの繰入	原則に基づく一般会計からの繰入	<ul style="list-style-type: none"> 地方公営企業法に定める経費負担の原則に基づいた繰入金を一般会計へ要求 	<ul style="list-style-type: none"> 予定通りである。 	B
(12)	経営形態の見直し	経営形態見直しの検討	<ul style="list-style-type: none"> 最適な経営形態への移行についての検討、協議 市議会への報告 経営形態検討結果報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りである。 独法化移行への準備が順調に実施されている。 	B

2 数値計画の達成状況

(1) 収益的収支に係る数値計画の達成状況（単位：千円）

項目	H22年度 (実績)	H23年度 (実績)	H24年度 (計画)	H24年度 (実績)	計画差	達成率 (%)	H25年度 (当初予算額)	評価コメント	評価
病院事業収益	9,169,773	9,403,933	9,468,801	9,950,194	481,393	105.1	9,853,577	<ul style="list-style-type: none"> 入院収益が計画と比較し、大きく上回っている。 入院、外来収益ともに計画を上回っている。 計画通り実施されている。 	B
医業収益	8,378,254	8,623,686	8,709,335	9,159,479	450,144	105.2	9,110,035		
うち入院収益	5,568,593	5,849,751	5,855,096	6,154,743	299,647	105.1	6,120,314		
うち外来収益	2,488,718	2,472,299	2,553,061	2,683,802	130,741	105.1	2,693,670		
医業外収益	785,095	780,247	759,465	790,715	31,250	104.1	743,541		
特別利益	6,424	0	1	0	△ 1	皆減	1		
病院事業費用	9,213,292	8,963,815	9,462,438	9,716,806	254,368	97.4	9,815,417	<ul style="list-style-type: none"> 給与費、材料費が計画を上回っている。 費用全体では、年度計画通り実施されている。 全体的に計画通りであるが、前年度の実績額と比較すると大幅な増加である。 	B
医業費用	8,901,999	8,746,153	9,198,663	9,484,516	285,853	97.0	9,645,758		
うち給与費	5,075,562	4,994,504	5,390,552	5,504,097	113,545	97.9	5,637,814		
うち材料費	2,052,684	1,959,829	1,892,935	2,031,561	138,626	93.2	1,944,940		
うち経費	1,343,818	1,362,085	1,484,701	1,459,399	△ 25,302	101.7	1,496,019		
うち減価償却費等	383,251	385,100	382,123	376,627	△ 5,496	101.5	419,527		
医業外費用	232,348	215,134	246,845	227,028	△ 19,817	108.7	141,789		
うち企業債利息	54,505	45,504	36,542	36,543	1	100.0	29,697		
特別損失	78,945	2,528	16,930	5,262	△ 11,668	321.7	27,870		
経常収支	29,002	442,646	23,292	238,650	215,358	652.2	66,029	<ul style="list-style-type: none"> 計画を大きく上回る実績である。 純利益を計上している。 累積欠損金が減少している。 	A
収支差引	△ 43,519	440,118	6,363	233,388	227,025	3,667.9	38,160		
累積欠損金	2,542,069	2,101,951	2,481,333	1,868,563	△ 612,770	132.8	2,535,706		

(2) 資本的収支に係る数値計画の達成状況（税込み）（単位：千円）

項目	H22年度 (実績)	H23年度 (実績)	H24年度 (計画)	H24年度 (実績)	計画差	達成率 (%)	H25年度 (当初予算額)	評価コメント	評価
資本的収入	670,703	559,675	870,101	759,135	△ 110,966	135.6	799,937	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施されている。 	B
うち企業債	230,200	130,000	481,600	361,800	△ 119,800	278.3	459,000		
うち出資金	439,235	423,315	388,500	388,500	0	91.8	340,936		
資本的支出	1,061,209	957,966	1,241,032	1,159,135	△ 81,897	107.1	1,125,246	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施されている。 	B
うち建設改良費	270,937	187,757	550,564	468,368	△ 82,196	117.5	527,030		
うち企業債償還金	790,272	770,209	690,468	690,767	299	100.0	598,216		
収支差引	△ 390,506	△ 398,291	△ 370,931	△ 400,000	△ 29,069	92.7	△ 325,309	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施されている。 	B

(3) 指標に係る数値目標の達成状況

項目	H23年度 (実績)	H24年度 (目標)	H24年度 (実績)	計画差	達成率 (%)	H25年度 (目標)	評価コメント	評価
入院延べ患者数 (人)	131,810	133,771	133,792	21	100.0	134,440	・入院延べ患者数が目標を上回っている。 ・概ね目標通りである。	B
入院一日平均患者数 (人)	360	366	367	1	100.3	368		
外来延べ患者数 (人)	297,354	296,205	302,345	6,140	102.1	293,272	・外来延べ患者数が目標を大きく上回っている。	B
外来一日平均患者数 (人)	1,218	1,209	1,234	25	102.1	1,202		
平均病床利用率 (%)	78.6	80.0	80.0	0.0	100.0	81.0	・全体の平均病床利用率は目標通りであるが、一般は目標を上回っている。 ・概ね目標通りの運用である。	B
平均病床利用率 (%) (一般)	82.7	83.0	84.3	1.3	101.6	84.0		
患者一人当りの一日入院収益 (税込・円)	44,380	43,771	46,002	2,231	105.1	43,990	・入院、外来ともに目標を達成している。	B
患者一人当りの一日外来収益 (税込・円)	8,314	8,621	8,877	256	103.0	8,664		
経常収支比率 (%) (経常収益/経常費用)	104.9	100.2	102.4	2.2	102.2	101.1	・経常収支、医業収益比率ともに目標を達成している。 ・人件費比率は目標を達成し、前年度との比較でも増加しておらず、実績は評価できる。 ・全体的に優れた実績と言える。	A
医業収支比率 (%) (医業収益/医業費用)	98.6	94.7	96.6	1.9	102.0	95.8		
人件費比率 (%) (給与費/医業収益)	57.9	61.9	57.9	△ 4.0	106.9	61.0		
患者紹介率 (%)	36.0	40.0	37.0	△ 3.0	92.5	50.0	・目標達成には至らないが、計画通りである。	B
職員数 (総職員) (人)	697	695	742	47	106.8	695	・総職員数が目標を上回っている。 ・研修医数は目標を大きく下回っている。	B
職員数 (正職員) (人)	471	473	474	1	100.2	473		
研修医 (一年次) (人)	7	10	4	△ 6	40.0	10		
救急患者数	11,776	11,950	18,276	6,326	152.9	12,519	・全項目で目標が達成されている。 ・救急患者数は、小児科および耳鼻咽喉科救急外来の新設により実績が目標を大きく上回っている。 ・手術件数、分娩件数とも増加傾向にある。 ・計画以上の実績と評価できる。	A
手術件数	2,302	2,344	2,357	13	100.6	2,557		
分娩件数	225	230	239	9	103.9	230		
人間ドック件数	1,308	1,405	1,410	5	100.4	1,472		
一般会計繰入金 (千円)	1,217,862	1,183,580	1,183,580	0	100.0	1,146,474	・計画通りである。	B
企業債残高 (千円)	2,939,629	2,730,960	2,610,661	△ 120,299	104.6	3,185,741	・残高も減少傾向にあり、計画通りである。	B

※外来診療日数・・・H20年度→243日、H21年度→242日、H22年度→243日、H23年度→244日、H24年度→245日

※地域医療支援病院紹介率 = $\frac{\text{紹介患者数} + \text{即日入院救急患者数}}{\text{初診患者数} - \text{休日夜間外来患者数}}$